

全苗連だより

Vol. 59 (6月号)

令和元年6月27日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03

全苗連東北・北海道地区協議会大会(総会)が開催されました

- ・第6回(令和2年)全苗連生産者の集いの開催について、福島県苗組から提案がありました
- ・新潟県山林種苗協同組合の解散が報告されました

令和元年度全苗連東北・北海道地区協議会大会(総会)が、6月20日に秋田県秋田市秋田温泉「さとみ」を会場にして開催されました。

議事では、秋田県山林種苗協同組合理事長小林富義氏が議長を務め、所定の議案を原案通り可決・承認されるとともに、次期会長に岸紘治氏(北海道山林種苗協同組合理事長)、副会長に木村重成氏(青森県山林種苗協同組合理事長)及び小林富義氏(秋田県山林種苗協同組合理事長)が選出されました。

会議の中で、新潟県苗組の花野英三郎理事長から発言があり、平成30年度をもって苗木需給安定基金が廃止となったこと等から新潟県山林種苗協同組合が令和元年5月21日付をもって解散したため今年度末に全苗連を脱退すること、新潟県内苗木生産者は存続することから任意団体である新潟県山林種苗協会が生産者のフォローをする旨報告がありました。新潟県以外の苗組からは、基金廃止に伴う積立金分配の方法についての発言や新潟苗組の再結成と全苗連への早期復帰を待っている旨の発言等がありました。(脚注；全苗連定款第11条(自由脱退)；会員は、あらかじめ本会に通知したうえで、事業年度の終わりにおいて脱退することができる。)

また、野尻榮一福島県農林種苗農業協同組合組合長から、令和2年開催の第6回全苗連生産者の集いについて、岸紘治全苗連会長からの開催打診に応じる形で、来年9月3日、福島市「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」にて開催を予定したい旨の発言がありました。

翌日は、現地視察となり、秋田市にある(株)あきたプライウッドを訪れ、秋田杉を使った合板製造現場を見学しました。

全苗連・苗組の行事予定

～R2.3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会の実施 ②コンテナ苗生産に新規参入後、間もない事業者を対象とした研修会の実施 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導の実施 ④造林者等を対象としたコンテナ苗の植栽に関する研修会の実施 ⑤その他研修会の実施等 ⑥種苗の需給情報等を共有する取組
実施者;全苗連、都道府県苗組

7月5日 第2回全苗連正副会長会議(全苗連事務室)

7月5日 生産事業功労者及び永年勤続常勤役職員選考会(全苗連事務室)

7月17日 日本造林協会通常総会(コープビル)

7月23日 第5回全苗連生産者の集い実行委員会(愛媛県林業会館中ホール)

7月31日 全苗連青年部(仮称)交流会・現地研修会(北海道)

～8月1日

8月6日 関東地区特定母樹等普及促進会議(山梨県富士吉田市)(森林総合研究所林木育種センター)

9月5日 第5回全苗連生産者の集い(愛媛県 松山市総合コミュニティセンター)

～6日